

株主の皆様へ

第109期 中間報告書



スバル興業株式会社

証券コード：9632

2022年2月1日～2022年7月31日

第109期上半期の業績は好調に推移いたしました。



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社第109期上半期（2022年2月1日から2022年7月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概要等をご報告申し上げます。

なお、当期の中間配当金につきましては、2022年9月8日の取締役会において1株につき130円をお支払いすることを決議いたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年10月

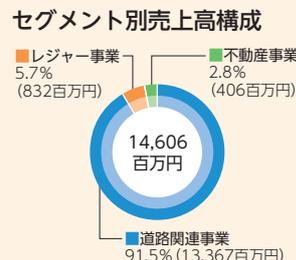
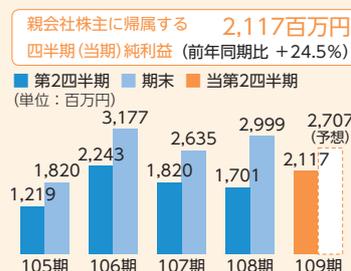
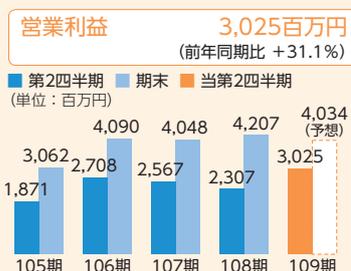
取締役社長 永田 泉浩

財務ハイライト（連結）

上半期業績のご報告

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気の持ち直しが期待されるものの、ウクライナ情勢の緊迫化や急激な円安の進行に伴う資源価格・原材料価格の高騰等により、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは各事業において業績の向上に努めました結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,606百万円、営業利益は3,025百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,117百万円となりました。



営業の概況

道路関連事業（上半期）

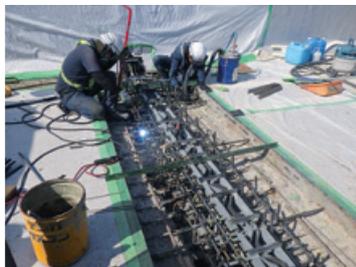
売上高 13,367百万円（前年同期比+ 4.5%）
セグメント利益 3,037百万円（前年同期比+27.8%）

主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路・河川 保全作業
- 橋梁・構造物等の設計業務
- 有料道路等の売店運営
- 道路環境関連製品の販売
- 太陽光発電事業

道路業界においては、引き続き政府による防災・減災、国土強靱化対策の推進もあり、公共投資が底堅く推移しましたが、慢性的な人手不足や受注競争の激化、労務費・資機材価格の上昇傾向が継続する等、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、総合評価方式への対応を強化し、道路維持管理業務・道路清掃業務の継続的な受注確保に努めました。また、高速道路のリニューアル工事や橋梁補修工事、雪氷対策作業において業務の効率化やコストの削減に努めると共に、労務費・資機材価格にて物価スライドが適用されたこともあり、前年同期比で増収増益となりました。



伸縮継手補修工事



雪氷対策作業

最近の取り組み

「インフラマネジメント研究会」への参画

インフラ補修のDX化を模索

当社は、交通インフラの維持管理プロセスの効率化・高度化を目的として、大学と民間企業が連携する「**インフラマネジメント研究会**」に参画しています。

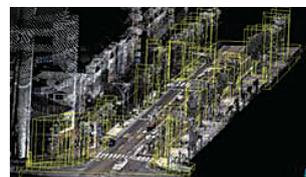
当研究会では、自動車やドローンに搭載した3次元高精度カメラを活用して、構造物や地形を測量し、X軸・Y軸・Z軸の座標を基に図示した「**点群データ**」による3Dマップを作成。そして、これにAIを組み合わせることで、交通インフラの損傷や変状を**効率的に検知できる点検システムの確立**を目指しています。

交通インフラの老朽化が全国的に進行しているにも関わらず、業界全体において人手不足の課題を抱えるなか、このシステムにより**点検業務の省人化や損傷箇所の発見・補修の早期化**が期待されています。

当社は研究会の一員として、「現場」に触れる立場からニーズや知見を提供すると共に、点検業務や補修業務においてデータを活用した施工を実践する役割を担っており、産学連携を通じた**インフラ補修のDX化**を模索してまいります。



車載3次元高精度カメラ



構造化した点群データ

レジャー事業（上半期）

売上高 832百万円（前年同期比▲ 17.2%）
セグメント利益 78百万円（前年同期比+113.6%）

主な事業

- 飲食店経営
- 飲食物品等販売
- マリーナの運営

飲食事業は、まん延防止等重点措置が解除され、一時的に客足の回復基調がみられたものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、本格的な回復には至らず、事業環境は依然として厳しい状況が続きました。このような状況のなか、商品提供の迅速化による回転率の向上に努めると共に、新メニューの開発やSNSを活用したPR情報の発信により、集客増を図りました。

マリーナ事業は、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』における年間契約の船舶係留数が引き続き高水準で推移したことに加え、グランピング施設の新設や観光船の集客増、コロナ禍により中止していたヨットレース「スバルザカップ」の再開等、新規顧客の獲得に向けたサービスの充実を図りました。

以上の結果、レジャー事業全体では、収益認識に関する会計基準等の適用の影響により、前年同期比で売上高は減収となりましたが、セグメント利益は増益となりました。

不動産事業（上半期）

売上高 406百万円（前年同期比+ 6.5%）
セグメント利益 285百万円（前年同期比+15.2%）

主な事業

- 賃貸ビル
- 賃貸倉庫
- 賃貸駐車場
- 土地の賃貸

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が堅調に稼働し、前年同期に計上した取得不動産に係る費用が減少したこと等により、前年同期比で増収増益となりました。



基本方針

- ⌚ 当社の事業を最大限に活かし、サステナブルな社会づくりに貢献する
- ⌚ 過去最高売上高・営業利益の更新を目指す
- ⌚ 環境に配慮した事業を推進する
- ⌚ 人材の充実と新しい働き方を推進する
- ⌚ 実効性の高いガバナンス体制の強化を図る

数値目標（連結）

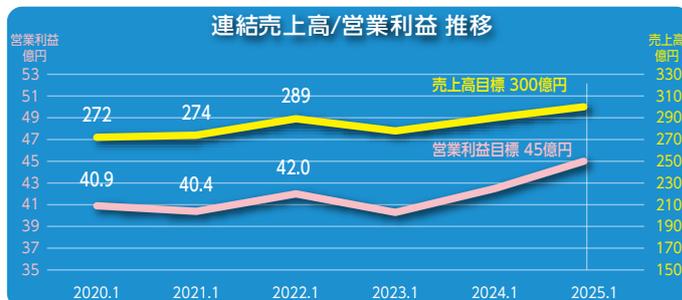
2025年
1月期

売上高目標

300 億円

営業利益目標

45 億円



各事業の具体的な戦略

道路関連事業 <全ての道路利用者のために>

- ・ **受注拡大に向けた体制の強化**：外国人や女性を含め、技術者を積極的に採用・教育し、人材の確保に取り組むと共に、働きやすい環境の整備とワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。また、安定した資機材の調達ルートの確保や協力会社の充実を図り、受注体制の強化に努めてまいります。
- ・ **年間維持管理業務、大規模更新・修繕事業の受注**：道路維持車両・特殊機械等を自社保有し、365日24時間に掛けて緊急対応を可能とする体制を構築できる強みを活かし、当社グループの主力である年間契約の道路維持管理業務・道路清掃業務の確実な受注に努めてまいります。また、当社グループの経験や工法、保安規制等の実績を最大限に活用し、各高速道路会社等において計画されている大規模更新・修繕事業の受注を目指してまいります。
- ・ **環境事業の拡大と新技術開発の推進**：自社製品『水澄みいる』・『オイルブロック』等による汚濁水の浄化業務をはじめ、積極的に環境事業に取り組み、自社製品の販売・施工と共に技術力の強化を図ってまいります。
- ・ **新たな事業への参画・拡大**：当社グループのノウハウが活用できる「コンセッション方式による道路管理業務」や「プロポーザル方式による指定管理者業務」等の受注拡大を目指し、体制の構築と情報収集に努めてまいります。



レジャー事業 <レジャーを通じて人々に夢と希望を>

【飲食事業】

- ・ **既存店の営業強化、効率化の推進**：飲食店舗では、感染症対策をはじめ安全衛生管理の徹底を図ると共に、ウィズコロナ・ポストコロナでの新生活を見据えたテイクアウト、デリバリー販売等の充実化を進めてまいります。また、フードロスやプラスチック廃材の削減に取り組んでまいります。
- ・ **的確な商品提案によるシェア拡大**：物品販売では、積極的な営業を展開し、顧客ニーズにあった商品提供に努め、販路拡大を目指してまいります。

【マリーナ事業】

- ・ **新規顧客の獲得**：契約船舶係留数の確保による安定的な収益基盤の維持を図ると共に、ドッグラン・BBQ場の運営をはじめ、レンタルボートや観光船等の集客増に取り組む、新規顧客の獲得を図ってまいります。また、新規マリーナの運営受託を目指し情報収集に努めてまいります。



不動産事業 <安定的な収益基盤として>

- ・ **所有物件の計画的修繕工事**：計画的な点検・修繕工事を実施し安全性の高い施設運営に努め、顧客満足度の向上を図り、安定的な収益確保に努めてまいります。
- ・ **新たな不動産の取得**：将来性や収益の安定性を考慮した不動産戦略に則り、所有物件の再評価を行うと共に、新規不動産の取得に取り組んでまいります。



株主ご優待

(1) 優待基準日
毎年1月31日(年1回)のみ

(2) 優待内容
TOHOシネマズ ギフトカード

全国の「TOHOシネマズ」においてご利用いただけるプリペイド式のカードであり、映画チケットの購入のほか、劇場内での各種ドリンクやスナック、パンフレット等の購入にご利用いただけます。

株式保有数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株以上	2,000円分	3,000円分
200株以上	3,000円分	4,000円分
300株以上	4,000円分	5,000円分

継続保有期間3年以上とは、基準日(1月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続して4回以上記載または記録されていることといたします。

(3) 贈呈時期

1月31日現在の株主様へ、4月下旬に発送いたします。
また、本カードは使い捨てカードであるため、基準日が到来する都度、発送いたします。

※中間期における発送はございません

株式の状況・会社概要

(2022年7月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数: 4,000,000株
発行済株式の総数: 2,662,000株
株主数: 5,202名(前期末比▲29名)

会社概要

設立	1946年2月9日
資本金	1,331百万円
主要な事業所	47カ所
従業員数	231名(連結661名)
本社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861(代表)
関西支社	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西二丁目4番12号 TEL 06-6476-8801(代表)

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://subaru-kougyou.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号
TEL 03-3213-2861(代表)

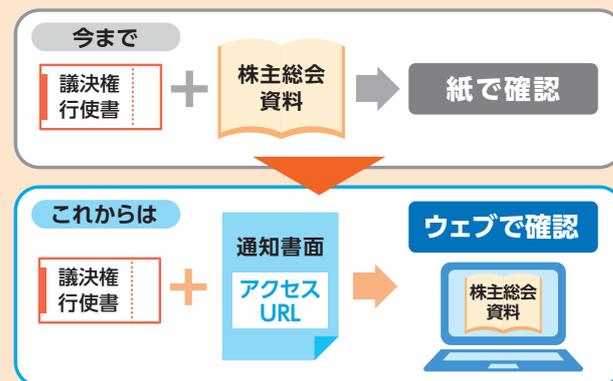
ホームページのご案内

<https://subaru-kougyou.jp/>



株主総会資料の電子提供制度について

会社法改正による電子提供制度の導入に伴い、
来年の株主総会より招集通知等の株主総会資料は
制度上、原則ウェブにてご提供することとなりました。



詳細は同封の
リーフレットを
ご参照ください。



お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
 - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※ 証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
● 当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買取断することができません。売買取断するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

3. 配当金の受け取り方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、銀行預金口座への振込の方法がございます。

お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれる銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

